

クルマ情報 TOPICS

2020 (令和 2)年

11月

vol. 85



革新的パフォーマンスのスバル・新型レヴォーグ発売

マツダの新型SUV・MX-30もデビュー

先行予約は8,000台超

スバルの最新技術が結集された革新的なパフォーマンスワゴン新型レヴォーグがいよいよ11月26日(木)に発売されます。今年8月20日から始まった先行予約は、10月14日時点で8,290台に達するという人気ぶり。このうち、アイサイトX(高速道路・自動車専用道路におけるハンズオフ機能、車線変更の支援機能)搭載グレードが93%を占め、多くのユーザーが新型レヴォーグの先進性に期待と支持を集めています。



ボディサイズは全長4,755×全幅1,795×全高1,500mm。先代モデルと比べて全長で65mm、全幅が15mm拡大しました。

この他、インプレッサには2.0LのHVと最上級スポーツグレード、STIスポーツなどを追加、XVは外観を改良するとともに、ボディカラーに「プラズマイエロー・パール」が新たに設定されました。フォレスターは2.5Lエンジンが廃止され、1.8Lターボエンジン搭載車が発売されています。



2.0L・HVモデルのAdvance。



フォレスターはターボ車が復活しました。新色プラズマイエロー・パールのXV。



新たな価値を提供する新型SUV



セラミックメタリックの白いボディと観音開きのドアが印象的なMX-30。

10月8日(木)、マツダから新しい価値を提供する新型SUV、MX-30が発売されました。マツダはこれまで、時代を象徴する節目のモデルにMXという車名を付けてきました。今般発売されたMX-30にはそうしたマツダの並々ならない決意が示された新型車といえます。

今般発売されたMX-30は2.0Lガソリンエンジンのハイブリッド車で、来年1月にはEVモデルもラインナップされる予定です。

前後のドアはフリースタイルドアと呼ばれる観音開き方式を採用しました。センターピラーを設けず、乗降もスムーズです。インテリアではマツダとして初めてエアコン操作をタッチパネル式とし、操作性を向上させています。



タッチパネル式となったエアコン操作パネル。

MX-30のインテリア。センターコンソールにはコルク素材を使用。今年創業から100年を迎えたマツダは当時コルク製造会社としてスタートしており、原点回帰とともにエコマテリアル素材をインテリアにちりばめました。

🌀東京海上日動のおクルマ購入サポート制度をご利用ください。

🌀自動車販売店へご訪問する前にご相談ください。